

## 建築基準法第52条第8項の容積率緩和を受ける建築物に関する指導要綱実施細目

制 定 平成15年4月1日

改 正 令和3年3月30日

### (目的)

**第1条** この要綱は、建築基準法第52条第8項の容積率緩和を受ける建築物に関する指導要綱(以下「要綱」という。)の実施について必要な事項を定める。

### (事前協議)

**第2条** 事業者は、要綱第4条に規定する事前協議を行うには、別記第1号様式による協議書2通を市長に提出すること。

### (協議書の添付図書)

**第3条** 前条の規定による協議書には、次の表に掲げる図書を添えること。

図書の種類	明示すべき事項										
付近見取図	方位、道路、目標となる地物										
配置図 (1/300以上)	縮尺、方位、敷地境界線(寸法を記入)、敷地内の建築物及び工作物の位置、敷地の接する道路の位置、道路に接して有効な空地の部分の範囲(赤色で囲むこと)、公開性の高い空地の範囲(青色で囲むこと)										
道路に接して有効な空地の部分(S)の計画図 (1/300以上) ※配置図に明示すべき事項を全て明示した場合は、配置図を兼ねる事ができる。	縮尺、方位、道路に接して有効な空地の部分の寸法(歩道幅、道路境界線及び隣地境界線からの空き等)、道路に接して有効な空地の部分の仕上げ(歩道、植栽、広場、遊具・モニュメント等)、前面道路との高低差 ※道路に接して有効な空地の部分は、仕上げ材料に近い色で着色し、範囲を赤色で囲むこと。(次表参照)										
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>道路に接して有効な空地の部分(S)</td> <td>赤枠</td> </tr> <tr> <td>公開性の高い空地(S')</td> <td>青枠</td> </tr> <tr> <td>植栽</td> <td>緑色</td> </tr> <tr> <td>自然土</td> <td>黄色</td> </tr> <tr> <td>インターロッキング等</td> <td>材料の色</td> </tr> </tbody> </table>	道路に接して有効な空地の部分(S)	赤枠	公開性の高い空地(S')	青枠	植栽	緑色	自然土	黄色	インターロッキング等	材料の色
道路に接して有効な空地の部分(S)	赤枠										
公開性の高い空地(S')	青枠										
植栽	緑色										
自然土	黄色										
インターロッキング等	材料の色										
道路に接して有効な空地の部分(S)の求積図 (1/300以上)	道路に接して有効な空地の部分の各辺長、実面積 ※求積は、三斜求積によること。										
公開性の高い空地(S')の求積図(1/300以上)	公開性の高い空地(S')の各辺長、実面積 ※求積は、三斜求積によること。										
住戸タイプ別平面図 (1/100以上)	タイプ別の住戸専有面積及び平均住戸専有面積を記入すること。										
その他	市長が必要と認める内容										

### (工事完了届)

**第4条** 事業者は、要綱第6条の規定による工事完了報告を行うには、別記第2号様式による届出書を市長に提出すること。

附 則

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

この要綱は、平成17年6月1日から施行する。

この要綱は、令和3年3月30日から施行する。

(改正経過)

平成17年6月1日 法第52条第7項→法第52条第8項(項ずれ)

令和3年3月30日 文言修正

## 建築基準法第 52 条第 8 項の容積率緩和を受ける建築物の事前協議書

大阪市長 様

住所

(法人にあっては、主たる事務所の所在地)

申請者

氏名

(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

電話 (                    )                    番

建築基準法第 52 条第 8 項の容積率緩和を受ける建築物に関する指導要綱第 4 条の規定に基づき、次のとおり協議します。

1	建築計画の名称	
2	敷地の位置 (地名地番)	大阪市
3	代理人住所氏名	TEL (            )            -            担当者 (            )
4	地域地区	
5	建築物の用途	
	工事種別	
	敷地面積 (A)	. m <sup>2</sup>
	建築面積	. m <sup>2</sup> (建ぺい率            . %)
	延べ面積	. m <sup>2</sup> (住宅の割合            . %)
	容積対象面積	. m <sup>2</sup> (容積率            . %)
	構造	S 造 ・ RC 造 ・ SRC 造 ・ その他 (            )
	階数	地上階            地下階            塔屋階
	高さ	高さ . m            塔屋最高高さ . m
	道路に接して有効な空地の部分 (S)	. m <sup>2</sup> (S / A            . %)
	公開性の高い空地 (S')	. m <sup>2</sup> (S' / A            . %)
	容積率の緩和の上限の数値 (V <sub>r'</sub> )	$V_{r'} = 6V_c / (6 - R) =$
6	図書	別添のとおり

※ 受付欄	※ 処理 ・ 備考
※ 第            号	

第2号様式

建築基準法第52条第8項の容積率緩和を受ける建築物の工事完了届

大阪市長 様

住所

(法人にあっては、主たる事務所の所在地)

申請者

氏名

(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

電話 ( ) 番

建築基準法第52条第8項の容積率緩和を受ける建築物に関する指導要綱第6条の規定に基づき、次のとおり報告します。

1 建築計画の名称	
2 敷地の位置(地名地番)	大阪市
3 代理者住所氏名	TEL ( ) ー 担当者( )
4 事前協議番号	第 号
5 工事完了年月日	年 月 日

※ 受付欄	※ 処理・備考
	完了検査年月日 年 月 日